

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【愛媛県】

1 実践テーマ	【パラリンピック学習を通じた障がい者理解】
2 実施対象者	上島町立岩城中学校 全校生徒40名 (講演会では希望保護者、学校関係者評価委員も参加)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名(総合的な学習の時間、保健体育) ② 行事名(オリンピック・パラリンピック学習) ③ その他() (2) 地域における活動 ① イベント名() ② その他()
4 目標 (ねらい)	○ 平等に競技できる制度や工夫を学ぶことで、スポーツを通じてインクルーシブな社会を創造していこうとする態度を養う。 ○ 障がい者に対する理解を深めるとともに、差別や偏見のない社会を実現しようとする態度を養う。 ○ オリンピック・パラリンピック教育を通して、2020年東京大会への関心を高める。
5 取組内容	1月29日(火) 6校時 オリンピック・パラリンピック学習① 「パラリンピックってなんだろう？」 (国際パラリンピック委員会公認教材“i m POSSIBLE”より) 全校生徒対象  2月6日(水) 6校時 オリンピック・パラリンピック学習② 「パラリンピックスポーツについて学ぼう」 (国際パラリンピック委員会公認教材“i m POSSIBLE”より) 全校生徒対象  2月13日(水) 5・6校時 オリンピック・パラリンピック学習③ 「オリンピック・パラリンピック教育講演会」 (パラリンピアン井上聡さんによる講演と競技用車いす体験) 全校生徒、希望保護者、学校関係者評価委員対象

	<p>2月18日（月）5・6校時 オリンピック・パラリンピック学習④ 「ゴールボールをやってみよう」 （国際パラリンピック委員会公認教材“i m POSSIBLE”より） 全校生徒対象</p> 
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ パラリンピックの意義や価値、歴史などについて学習し、理解を深めることができた。 ○ パラリンピックに参加する国や地域が増加してきた理由を考えることで、パラリンピックの認知度が高まってきたことや障がい者が積極的に参加・貢献することができる「共生社会」への理解が進んできたことを実感した。 ○ パラリンピックの記録がオリンピックに負けない記録であることを知り、パラリンピアンもオリンピックと同じように自分の限界に挑戦していることを学んだ。 ○ パラリンピックでは、障がいの種類や程度などの違いを踏まえて、個性や能力を発揮し、活躍できるように公正な機会が与えられるよう工夫がたくさん行われていることを学んだ。 ○ 様々な形でパラリンピックをサポートする人がいることを知り、パラリンピックへの参加の仕方はたくさんあることを学んだ。 ○ 学習前の生徒はパラリンピックのダイジェストを見て、「障がいがあるのにすごい」、「障がい者なのに〇〇できてすごい」という感想が多かったが、学習後にはその考えの間違いに気付き、「乗り越えていく山は違うけど、乗り越えるのはオリンピックもパラリンピックも同じだと思いました。」、「サポートする人の存在や競技や用具の工夫に加え、選手の努力もすばらしく、パラリンピアンの可能性は無限大だと思いました。」、「みんながわかり合えて、みんながスポーツを楽しむことができる世界になればいいなと思いました。」といった感想に変容した。
<p>7 実践において工夫した点 （事業の特色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実施テーマを「パラリンピック学習を通じた障がい者理解」としたのは、本校が人権・同和教育に力を入れて取り組んでいるからである。生徒に掲示した本事業のタイトルを「パラリンピック学習～やさしく正しい人になる～」とした。副題は今年度の3年生が文化祭で披露した人権劇のタイトルである。「オリンピック・パラリンピック教育」と「人権・同和教育」をリンクさせて進めることで、障がい者に対する理解を深めるとともに、差別や偏見のない社会を実現しようとする態度を養うことができた。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ パラリンピアンによる講演会は、生徒にとって貴重な学びの場となった。来年度以降継続していく上で、こういった形で継続していくか。 ○ 全校生徒を対象に行ったので、来年度の1年生には、i m POSSIBLE を活用した授業を行うことができるが、2、3年生にこういった授業を行うか。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今年度同様、「オリンピック・パラリンピック教育」と「人権・同和教育」をリンクさせて授業を実施したい。